

項 目	遮断器への機能現地付加について
<p>1 内容</p> <p>完成品として<PS>Eマークが貼付され、出荷される配線用遮断器、漏電遮断器であって、出荷後に顧客の要望に応じてオプション機能を付加されるものがあります。付加されるオプション機能には、次の3タイプがあり、いずれも設置工事の現場において一旦カバーを開け、部品の取付け等の作業が行われますが、遮断器元来の機能には影響しません。こうしたオプション機能を付加する行為は、「電気用品の製造」に該当するでしょうか。</p> <p>なお、オプション機能を付加するための部品類は、遮断器メーカーが支給します。</p> <p>タイプ①：遮断器のトリップ状態を電氣的に表示するスイッチを器内の所定の位置に取り付け、スイッチのリード線を所定の開口部から外部に引き出し、スイッチのトリップボタンを穴部（ノックアウト）に組み込む。スイッチは機械的にONされ、AC100V以上の電路に接続される。</p> <p>タイプ②：遮断器のON/OFF状態を電氣的に表示する端子台付スイッチを器内の所定の位置に取り付け、スイッチのリード線を所定の箇所に設けた開口部から外部に引き出す。スイッチは機械的にON/OFFされ、AC100V以上の電路に接続される。</p> <p>タイプ③：器体側面の溝を利用して端子板を取り付け、漏電電流が設定値以上になったときに電氣的に表示するための内蔵のスイッチ部のリード線を端子板にはんだ付け接続する。</p>	
<p>2 回答</p> <p>タイプ①、②及び③とも、配線用遮断器又は漏電遮断器の製造事業者が設計・製造した組込み用の部品を設置工事の際に取り付けるものであり、遮断器の機構に手を加えるものでないことから、いずれも「電気用品の製造」には該当致しません。</p> <p>なお、オプション機能付加後の遮断器に係る安全性等についても、製造事業者が責を問われることとなりますので、ご注意ください。</p>	